技能五輪全国大会「配管」職種　Ｑ＆Ａ

NO.	質問内容	回答内容
Q1	材料表の樹脂製サドルバンドの規格がT字足の規格になってますが、誤りではないでしょうか？ 個数も1個ではないでしょうか？	材料表 ⇒樹脂製ｻﾄﾞﾙﾊﾞﾝﾄﾞ巾25㎜、H90　削除を削除します。 ⇒Ｔ字足　プレス　巾25㎜、H90　2個　を追記します。 ⇒サドルバンド　樹脂製　巾25㎜、1個　同上VP*1　を追記します。
Q2	VU用のT字足がH75になってますが、通気管40に使用すると壁からの離れが100になり、図面の90離れになりません。 T字足の長さが間違いでしょうか？	⇒Ｔ字足　プレス　巾25㎜、H75 ⇒　巾25㎜、H60 に修正します。
Q3	銅管曲げについてですが、ベンダー、型板用の亜鉛鉄板は持ち込み可能でしょうか？	~~⇒ベンダー　ｒ65なら持込可能です。~~ ~~⇒型板用の鉄板も可能です。~~ （10/20回答修正）⇒可能です。
Q4	今回の練習課題を組んでみた所、材料表と合わないところが多数あったのでお伺いしたく連絡させて頂きました。 まずはじめに、T字足のところですが、 誤　樹脂製ｻﾄﾞﾙﾊﾞﾝﾄﾞ巾２５㎜、H90 正　溶接巾２５㎜、H90　２個 　　樹脂製ｻﾄﾞﾙﾊﾞﾝﾄﾞ 13A　１個	Q1と同じ
Q5	次に、水道用硬質ポリ塩化ビニル管継手のところですが、 誤　９０°ｴﾙﾎﾞ　13A　６個 正　９０°ｴﾙﾎﾞ　13A　８個	⇒水道用硬質ポリ塩化ビニル管継手　90°エルボ　6個　⇒　8個　に修正します。
Q6	最後に、水道用硬質ポリ塩化ビニル管は、13Ａが2000ｍｍの1000ｍｍ×2と書いてありますが、少なからず2200ｍｍ以上ないとﾊﾟｲﾌﾟが足りないのではないでしょうか	⇒13A 1000㎜×2本　→　1000㎜×3本　に修正します。
Q7	① 排水床配管の50を1/50勾配で配管し、掃除口下側でフロアバンドを取り付けする場合、フロアバンドの寸切り長さが足りなくなります。材料の変更等はありますか？	⇒50A:H100　4個　→　50A:H100　2個　に修正します。 ⇒50A:H120　1個　を追記します。 ⇒50A:H150　1個　を追記します。
Q8	②図面の支持バンド取り付け位置に寸法の記載がないのですが、任意という解釈でよろしいですか？寸法精度等に影響しますか？	⇒寸法は任意です。 ⇒影響は無しです。

技能五輪全国大会「配管」職種　Ｑ＆Ａ

NO.	質問内容	回答内容
Q9	③銅管砂曲げ用の砂、その他型板作成工具の持ち込みは可能でしょうか？	⇒可能です。
Q10	①材料のVP13が1000×2本となっていますが、制作すると少しパイプが足りなくなります。パイプは追加されますか？500を1本追加してもらえると良いです。	Q6と同じ
Q11	②HI継手の13 90° エルボの個数が6個になっていますが、8個の誤りではないですか？	Q5と同じ
Q12	手洗い器の排水金具を取り付けする際、指定通りの三栄 PH778-32を使用すると、現状の排水高さだと届かなくなります。配管の高さ等変更がありますか？	VU40mm排水管を床仕上げ面より100mmまで立ち上げ、接続します。
Q13	①手洗器からの排水ﾄﾗｯﾌﾟを材料票通りの物を使用したところ、ﾄﾗｯﾌﾟの長さが配管まで足りませんでした。 ②ジャニス製の手洗器ですが、昨年と違いﾊﾞｯｸハンガーが無い為、手や足を使い抑えながらﾋﾞｽを打つという流れで取り付けた所、一人でつけれるよう試行錯誤はしているところですがﾋﾞｽを止めるまで固定させることが難しく落としたりなど怪我をしかねません。 ③ヘリューズ管は、立水栓から止水栓に下ろすまでまっすぐに下ろせずヘリューズ管が曲がってしまいます。 手洗器が本番も変わらずジャニス製の物を使用するのであれば実施要領に取付方法等載せて頂きたいです。	①排水トラップの長さの不足分は、Q12と同じ ②手洗い器は、７ｋｇと陶器製の器具では最軽量の製品を選定しています。下穴をあけ固定ビスが入りやすい状態をつくり、手だけでなく体全体を使い、壁に押し付ける力と製品を持つ力のバランスを考慮しながら設置するなど、安全面を充分に考慮し、態勢や押さえ方を工夫しながら作業して下さい。配管技能者が備えるべき、器具付け技能の一つとして考え、出題しています。 ③ヘリューズ管は、オフセットを25㎜とします。
Q14	排水金具 三栄水栓PH778-32にゴム栓が入っています。大会本番もゴム栓を手洗い器に取り付けるという認識でよろしいですか？	ゴム栓のくさり部を手洗器に固定します。
Q15	更新されたＱ＆Aを拝見させて頂きました。 Q14のくさり部を手洗器に固定するとありますが、固定する金具はどこのメーカーの何を使用したら良いですか？ 三栄水栓のトラップセットには入っていません。	洗面用ヒートンを材料表に追記します。